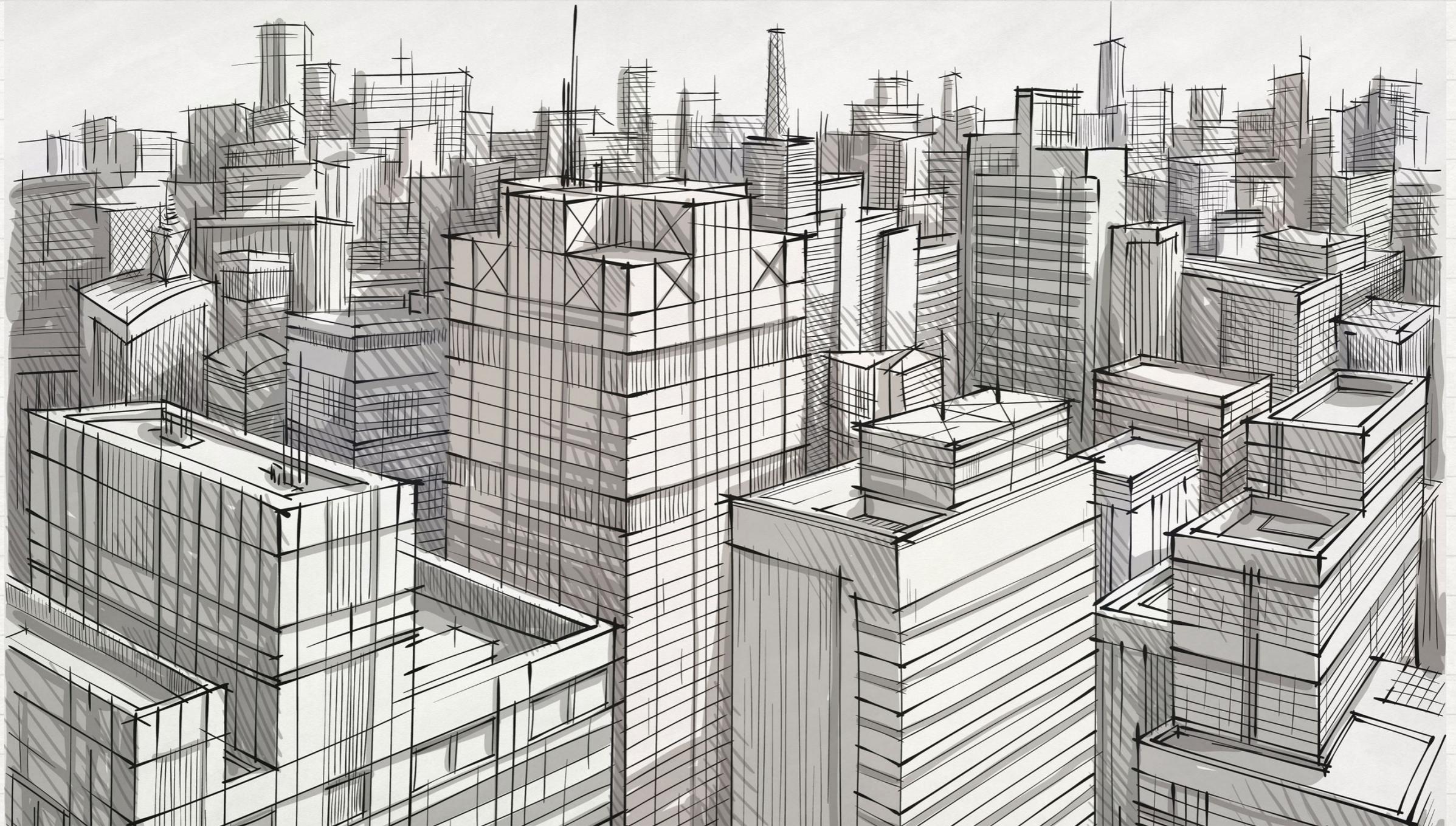


CHAPTER 6: SACRIFICIAL LEADERSHIP

第6章:犠牲を払うリーダーシップ



犠牲を払うリーダーシップ

サーバントリーダーとなることの一部分は、王なるイエスとその御国のために、喜んで犠牲を払っていくこと。特に、クリスチャンのリーダーシップにおいてはこの犠牲的リーダーシップが重要となる。

ボンフェツファー(The Cost of Discipleship, 1937)

「弟子化なきキリスト教は、キリストなきキリスト教と等しい」

マタイ26:24-28

それから、イエスは弟子たちに言われた。「だれでもわたしについて来たいと思うなら、自分を捨て、自分の十字架を負い、そしてわたしについて来なさい。いのちを救おうと思う者はそれを失い、わたしのためにいのちを失う者は、それを見いだすのです。人は、たとい全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう。人の子は父の栄光を帯びて、御使いたちとともに、やがて来ようとしているのです。その時には、おのおのその行いに応じて報いをします。まことに、あなたがたに告げます。ここに立っている人々の中には、人の子が御国とともに来るのを見るまでは、決して死を味わわない人々がいます。」

C・O・S・T

- ・ C:犠牲を数える Count the cost
- ・ O:オープンであること Openness
- ・ S:苦しみ Suffering
- ・ T:訓練 Training

COUNT THE COST: 犠牲を数える

- ・ 神が我々に願っている究極的なことは、キリストのようになること。
- ・ ローマ8:28-30神を愛する人々、すなわち、神のご計画に従って召された人々のためには、神がすべてのことを働かせて益としてくださることを、私たちは知っています。なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。神はあらかじめ定めた人々をさらに召し、召した人々をさらに義と認め、義と認めた人々にはさらに栄光をお与えになりました。

COUNT THE COST: 犠牲を数える

質問:

1. 払うべき犠牲を数えたことがありますか？
2. あなたに与えられる報酬はどんなものでしょうか？
3. どのように、自分を捨て、自分の十字架を負い、イエスに従っていますか？

OPENNESS:オープンであること

■ 神に対してオープンである:

・ 詩篇62:88「民よ。どんなときにも、神に信頼せよ。あなたがたの心を神の御前に注ぎ出せ。神は、われらの避け所である。セラ」

・ ピリピ3:10「私は、キリストとその復活の力を知り、またキリストの苦しみにあずかることも知って、キリストの死と同じ状態になり」

■ 他の人に対してオープンである:

・ IIコリント7:5,6「マケドニヤに着いたとき、私たちの身には少しの安らぎもなく、さまざまな苦しみに会って、外には戦い、うちには恐れがありました。しかし、気落ちした者を慰めてくださる神は、テトスが来たことによって、私たちを慰めてくださいました。

OPENNESS:オープンであること

■ 変化に対してオープンである:

・ IIコリント4:16-18「ですから、私たちは勇気を失いません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」

・ IIテモテ4:1-8(6-8)「私は今や注ぎの供え物となります。私が世を去る時はすでに来ました。私は勇敢に戦い、走るべき道のりを走り終え、信仰を守り通しました。今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。」

OPENNESS:オープンであること

■ 質問

1.試みに会う時、あなたの心は神にオープンであり、さらに近づいていますか？

2.他の人の経験や姿勢から学ぶことにオープンですか？

3.主のために命をささげることによって、主に命を見出します！

あなたは どうですか？

SUFFERING: 苦しみ

- イエスに従うものは苦しむ
- II テモテ3:12、ヨハネ16:33、I ペテロ2:21、II テモテ2:3
- 「イエスのために」ではなく、「イエスと共に」苦しむ
- ローマ8:17,18「もし子どもであるなら、相続人でもあります。私たちがキリストと、栄光をともに受けるために苦難をともにしているなら、私たちは神の相続人であり、キリストとの共同相続人でもあります。今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとしている栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます。」
- I ペテロ4:14「もしキリストの名のために非難を受けるなら、あなたがたは幸いです。なぜなら、栄光の御霊、すなわち神の御霊が、あなたがたの上にとどまってくださるからです。」

SUFFERING: 苦しみ

■ 質問

1. あなたは苦しんでいますか？それを通して何か学んでいますか？
2. 苦しみによって、他の人に対しての姿勢が変えられた経験はありますか？
どのようなものですか？
3. 苦しみの中で、神はどのようにあなたに語りかけられましたか？

TRAINING: 訓練

- 生涯学び続ける者となる
- ・ 又々15:10-12「義のために迫害されている者は幸いです。天の御国はその
入たちのものだから。」
- 池ではなく、川になる
- ・ 黙示録22:1-5「1. 御使いはまた、私に水晶のように光るいのちの水の川を、
見せた。その水は神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れ、
できた。また、その木の葉は諸国の民をいやした。」
- いのちの水の川
- ・ ピリピ3:10-11「私は、キリストとその復活の力を観た。またキリストの苦し
者の中からの復活に達したいのです。」
- いのちは苦しみを通して流れていく

TRAINING: 訓練

■ 質問

1.どのようにキリストの苦しみにあずかっていますか？

2.川になる代わりに、池となることはどのような影響をもたらしますか？

主があなたの心に、生ける水を流してください！！

3.苦しみを通して生涯学び続ける者になることに献身しますか？